

所属・資格 史学科・助教

申請者氏名 小川 雄

|   |  |  |
|---|--|--|
| 研究課題  |  | 16・17世紀の徳川権力と海上軍事に関する研究  |
| 報告の概要                                       | 研究目的<br>および<br>研究概要  | <p>徳川権力（戦国大名・統一政権の総称として用いる）の構造を解明するうえで、海上軍事に焦点を定めて検証していく。</p> <p>16世紀から17世紀にかけて、徳川権力は東海・関東の地域権力から統一政権に昇華したが、徳川権力の海上軍事力も、活動の規模と範囲を特定地域から全国規模に拡大させ、国際外交にも参画しており、その研究は徳川権力の展開をはかる指標になりうると見込まれる。また、徳川権力の形成を自明の理とせず、相対化する視点も確保するうえで、織豊政権や他大名の海上軍事も検証の対象とする。これによって、中世・近世の時代区分を乗り越え、より実態に則した中近世移行期論を提示することが目的である。</p>   |
|   | 研究の結果  | <p>本年度は、徳川権力の海上軍事について、国際外交の観点から検証する作業として、17世紀初頭の浦賀における対スペイン（ルソン島・メキシコ）交易や、同事業におけるウィリアム＝アダムスの動向に関する研究発表を講演という形で2回おこなった。</p> <p>また、戦国大名の海上軍事について、駿河今川氏を事例として取り上げ、海上軍事にとどまらず、海上交通・陸上交通の双方をめぐる流通支配全般を論じる論文を執筆した。</p> <p>さらに徳川将軍家の船手頭（海上直轄軍の指揮官）について、向井氏（戦国期以来の海賊）の研究に偏っている状況を是正するうえで、新田島組（永代橋周辺に駐屯した部隊）の基礎情報を整理して、事例研究の充実をはかった。</p> <p>この他に、徳川権力の形態を畿内・関東の関係から考察する研究発表をおこなった。</p>  |
|   | 研究の考察・反省   | <p>浦賀貿易・アダムスの研究発表については、質疑において、イングランド時代のアダムスの動向をより詳細に復元することで、日本における活動の世界史的意味をより明瞭にする必要性を指摘された。東ユーラシア世界における浦賀貿易の位置付けと合わせ、次年度以降の課題となる。</p> <p>駿河今川氏の流通支配に関する論文は、戦国大名による海上軍事の研究を、より広範な流通政策・領国構造・家中運営の解明に発展させていくことの必要性を認識するに至った。この点について、すでに甲斐武田氏の家中を対象とする論文を執筆済みである（次年度刊行の予定）。</p> <p>新田島組の船手頭については、史料の収集・整理に終始して、学会報告・研究論文として形にすることはできなかった。但し、これまで17世紀前半までにとどまっていた検証範囲を18世紀初頭まで拡張する見込が立ち、次年度の学会報告を予定している。</p> <p>概して、海上軍事の研究を、より高次の議論（徳川権力論・中近世移行期論・東ユーラシア論など）に展開することが課題となり、研究基盤の整備を進めている。</p> |
| 研究発表<br>学会名<br>発表テーマ<br>年月日/場所              | <p><u>研究発表</u></p> <p>学会名：日本大学史学会<br/>         テーマ：「徳川権力の「関東」化」（パネルディスカッション「東国とは何か」の一報告）<br/>         年月日：平成30年6月16日<br/>         場 所：日本大学文理学部</p>   |  |
| 研究成果物<br>テーマ<br>誌名<br>巻・号<br>発行年月日<br>発行所・者 | <p>学会名：武蔵野大学千代田サテライト教室 連続講座「武士の権力論」<br/>         テーマ：「徳川権力とウィリアム＝アダムス」（講演）<br/>         年月日：平成30年9月8日<br/>         場 所：武蔵野大学附属高等学院</p> <p>学会名：さいかち中世史講座<br/>         テーマ：「十七世紀の浦賀貿易ースペイン船が来航した時代ー」（講演）<br/>         年月日：平成30年11月17日<br/>         場 所：横浜歴史博物館</p> |  |

研究成果物（次年度予定）

※平成30年度は、研究基盤を形成するための作業が中心となり、新規の研究成果物を出すには至らなかった。但し、戦国大名の海上軍事や家中構造に関する研究の一端として、次年度に下記の成果を出すことが決まっている。

テーマ：「今川氏の流通支配」

書名：『論集 今川義元』

発行年月日：平成31年5月

発行所：戎光祥出版

テーマ：「武田信豊」

書名：『武田信玄の子供たち』

発行年月日：平成31年12月

発行所：宮帯出版